

ライブラリー・ワークショップの活動

徳島大学大学院 総合科学教育部 1年
出口桜子

1. ライブラリー・ワークショップ(LW)とは

ライブラリー・ワークショップ(LW)は図書館活性化を目指して学生、教員、職員が一緒になって活動している団体です。

週に1度、図書館に集まりミーティングを行っています。さまざまな企画やイベントを学生主体で考え、実行しています。

企画の主な内容としては、季節や時期に応じた、書架への本の展示、本のポップを手作りしてコンテストを行うポップコンテストなど。図書館をより良く活用してもらうために、日々意見を出し合っています。



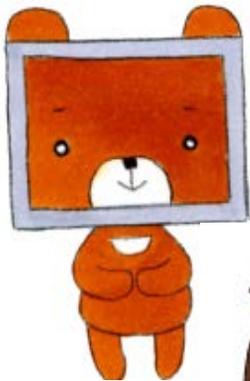
2. 「Love Library Letter」の発行

LWがちからを入れている主な活動のひとつとして、毎月手作りの新聞を発行しています。

学生の提案により、新聞のデザインを一から考え、今年の1月から毎月1回のペースで発行を始めました。

「ニュース」、「今月の一冊」、「心に残る名言」、「貸出しランキング」など、記事の執筆者をメンバーが交代で指名し合いながら作成しています。図書館内のほかにも、学内の許可された建物内にも置いています。これからも継続して続けていくつもりです。

おぱっくマ



タヌキーナ先生



Dr. ホー

徳島大学附属図書館の
キャラクターたち

3. まとめ

ライブラリー・ワークショップは、学生、教員、職員がそれぞれの目線で図書館を考え、意見交換が出来るという素晴らしい場所です。もともと読書や本が大好きな人たちが集まっているので、年代を超えて本の話もでき、読書推進の空間も作り出されています。

これからも利用者が親しみやすい明るい図書館を目指すべく、メンバー全員ちからを合わせ、頑張っていくつもりです。